

令和3年度職能委員会報告

〔 3 〕 看護師職能委員会 I

委員長 松永 由紀子

1. 委員会開催状況

- 1) 委員会 10回
- 2) 検討事項
 - (1) 令和4年度の事業：研修・企画・運営について
 - (2) 研修会の評価
 - (3) 新型コロナウイルス感染症対応状況について
 - (4) 職能だよりの作成
 - (5) 令和4年度合同職能集会について
 - (6) 合同職能委員会について

2. 活動報告

- 1) 会議等
 - (1) 全国看護師職能委員長会(WEB) 2回(7月・令和4年3月)
 - (2) 地区別職能委員長会(WEB) 1回(10月)
- 2) 研修会等開催
 - (1) 研修名 特定行為に係る看護師の育成と特定行為に係る看護師の活動の実際
開催日 9月15日
講師 ①日本看護協会 木澤晃代 ②福岡赤十字病院 寺田昌弘 ③済生会福岡総合病院 末永健二
内容 ①日本看護協会における特定行為研修について ②③特定講師研修の動機と活動の実際
対象 全看護職 特定行為に興味・関心を持っている看護職及び育成したい看護管理者
受講者 38名
 - (2) 研修名 ①准看護師進学支援／②SBAR 看護実践研修
開催日 10月30日
講師 ①専門学校麻生看護大学校 高橋 洋子 ②福岡大学筑紫病院 小林 晶
内容 ①進学を考えている准看護師への進学支援 ②SBAR 看護実践研修
対象 准看護師
受講者 10名
- 3) シンポジウムによる看護管理者の交流会・意見交換
 - (1) 交流会 新型コロナウイルス感染症対応に関わる看護管理者の意見交換会
開催日 11月6日
シンポジスト ①福岡大学病院 中川朋子 ②福岡市民病院 田邊郁子
③夫婦石病院 後藤裕子 ④福岡大学筑紫病院 樋口靖子
内容 新型コロナウイルス感染症対応における看護管理者の情報共有・意見交換、看護管理課題解決
シンポジストによる話題提供と意見交換
①重症患者受け入れに伴う看護管理
②新型コロナ患者受け入れに伴う専用病棟の開設
③患者・家族への精神的サポート～クラスター発生を経験して
④職員のメンタルサポートにおける課題
対象 看護管理者
参加者 44名
 - (2) 情報交換会 地域包括ケア推進における看護職間の連携強化に向けて
開催日 令和4年2月19日
内容 地域包括ケア推進に向けた各職能委員会、合同意見交換会
対象 会長、副会長、専務理事、常任理事、各職能委員の委員長・副委員長・委員
参加者 29名

3. 今後の課題・検討事項等

今年度は感染防護対策を徹底し、対面による集合研修を実施した。研修会はいずれもタイムリーな話題を企画し実施した。特定行為研修は、年々関心も高く今後も継続し、資格取得者の活動の実際や育成する看護管理者の活動支援について継続する。また新型コロナウイルス感染症対応における看護管理者の交流会では各施設の取り組みの実際やグループワークでの意見交換の中で、自施設の課題解決の一助となる機会を得た。

今後もタイムリーな話題提供を企画していきたい。また開催方法についてはWEBも可能となっており多くの方が受講できる体制も考慮し進めていく。

また、今年度、初めて各職能委員会が合同で意見交換会を開催した。地域包括ケア推進に向け、各職能の役割を踏まえ、職能間の連携・協働できる体制を整備し、活動の幅を拡大していくことが課題である。